

会 議 録

1 会議名

第3回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○地域活動支援事業について

- ・採択事業及び採択額の決定
- ・2次募集実施の検討

3 開催日時

平成26年5月21日（水）午後6時30分から午後8時20分まで

4 開催場所

春日謙信交流館 集会室3

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯田攻、池杉清子、大口幸司、大竹明德、長田久夫、竹内伊澄、田中実、
中島富士一、南雲和子、橋本桂子、宮崎光雄、宮脇信行、山本紀昭、
吉田実、鷺澤和省、渡部正由

・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事

8 発言の内容

1 開 会

【恩田係長】

本日の出席人員は、現時点で15名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。はじめに吉田会長からご挨拶を頂きます。よろしくお願ひします。

2 会長挨拶

【吉田会長】

本日は第3回春日区地域協議会に出席いただきましてありがとうございます。皆様から採点していただいた結果を配ってあると思いますが、採点のほう、ありがとうございました。今日はそれに基づきまして皆さんとの意見交換の後、採択とそれから採択金額を決定することになります。議事進行等、ご協力をお願いします。それから、採択にあたっては、提案する側も春日区に良かれということで提案されています。そういう提案者の側のお考えというものもよく考慮して発言等お願いできればと思います。

【恩田係長】

それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長をつとめていただきます。よろしく願いいたします。

3 議題

【吉田会長】

それでは、以降の議事進行を務めてまいります。会議につきましては、6時半から概ね8時頃を目標に進めたいと思います。よろしく願いいたします。それから本日の会議録の確認ですが、宮崎委員にお願いいたします。よろしく願いいたします。それでは次第に沿って進めてまいります。3議題（1）、地域活動支援事業についてです。委員の皆さんから採点を行っていただきまして、繰り返しますが、採点結果を基に、事業の採択、それから補助金の決定を行います。事務局で集計を行った結果が資料のNo.1-1および、資料No.2に記されています。はじめに、資料について事務局のほうから説明をお願いいたします。

【恩田係長】

— 資料No.1-1、2に基づき説明 —

【吉田会長】

只今の事務局の説明について、何か質問等ありましたらお願いします。よろしいですか。

質問のほうはよろしいですね。只今事務局のほうから説明がありましたように、こ

の資料の1-1、採点結果につきましては、皆様からの点数を集計しています。ただし、採択方針と言いますか、基本審査、ならびに評価の低い事業に対する基準というのは廃止しておりますので、あくまでも点数にならって配列してある、ということです。

それでは採決に入ります。まず、どこまでの事業、何位までの事業を採択するかということで、先ほど説明がありましたように、一番最下位であるインターネットですか、春-11について採択するかどうかを、皆さんに諮りたいと思います。春-11の採択にあたって、意見等がございましたらお願いします。いかがでしょうか。

採択方針に関して9名の方がバツなんですよ。で、マルの方が8名という、非常に厳しい評価だというふうに私のほうも感じております。ただ、冒頭私も言ったように、提案者の熱意と言いますか、春日区のために、こういうインターネットや何かの取り扱いについて教育の場を提供しようという趣旨は重々酌んでいただきたいというふうに思います。何か、ほかに意見ございませんか。前回は、賛成される意見もありましたし、なかなか不透明な、というような話もあったかと思えます。そういうのが、コメントの、資料1-2ですかね、そういうところにも書かれていますよね。だいたいいろいろな意見が書かれていますね。いかがでしょうか。

【長田委員】

ここにも私のコメントが入っているんですが、未知数であれば期待面も非常にありますということで、マルをつけた人は当然期待をしていると思うのですが、ただリスクの面から考えると、この間の話の中で、分かっている人が一人か二人くらいしか、このフェイスブックの話から始まってね、そういうものが分かっていない。分からないのにそこで採択しても、リスクのほうが大きいのでは分かりますよね。いま、こういうような状況ですと、コミュニケーションでも変なのになにか引っかけたり、色々そういうような事故もあります。だから、そういうものがありながら、そういうことが分かっているがこれを支援するということは、ちょっとアレかなと思って。この前ヒアリングのときに話していただいたこの内容が、もう少し私らにも分かるような方向で入っていれば、それでも採択も可能かと思うのですが、今の状態だとちょっとそこまではいけないんじゃないかなと思っています。

【橋本委員】

ご意見としては、只今の意見はなるほどと思うんですが、それだところにいる私たちが分からない問題については支援できなくなってしまうので、ポイントは、フェイスブックとかを使っている人間からしても、ここに持ってくる前にもう少しやり様があることが…。いきなり支援事業の前に、この意見を書いた中に、私が書いたんですが、講師もぜんぜん確保できてなくて、ボランティアだと人が集まらないからと言われてますが、まず志のある人たちが居て、その人たちに「じゃあボランティアだと悪いので」と、幾ばくか出せたらというような。だから、人育ての視点が欠けているような気がして、何かここに持ってくる前に一回、何と言うかそういう関係性を作ったうえでここに持って来られるという…。

【吉田会長】

要は準備不足…。

【橋本委員】

そうですね。だから期待はしたいです。

【吉田会長】

講師だって確保してないものね。ただ上教大とかそういうところから何か募集するような。要はまだこの構想が未熟と言いますかね。私がそこでちょっと補足したいのは、もしこれが不採択になったら、もう一度内容をよく検討して、二次募集でまた提案してもらってもよいのです。だから、ちょっと準備不足ですねという趣旨で書いて、不明確な点が多かったということで不採択としますと取り敢えずはして、それでやる気があつたらもう一回再チャレンジしてもらってもよいと思います。そういうこともあるかな、ということで、皆さんのお考えも見られるなと思います。その他いかがでしょうか。

【鷺沢委員】

この件については、採択方針に反するという方が過半数を超えているわけですが、これは分かる分からないというよりも、基本的な部分が問題点が多い、例えば、高齢者のフェイスブックに対する需要がどれくらいあるのか、そういう意向等を基本的に踏まえるということと、それから私たちは税金を扱っているわけですので、税金の使い道について、きちんとした目標や計画、やり方とか、そういったものをきちんと示唆して判断していくということも、この前もどなたかが言われましたが、若い人を育てる意味で「こ

ういった点が問題なんだよ」ということを示唆して、次回の機会を是非活かしてほしい、という判断をすべきではないかという具合に考えます。基本的な部分で、あまりにも納得できない部分が多い、ということです。

【宮脇委員】

私は、個人的には是非参加してみたい、是非習いたいと。パソコンでつかえてて、できたら教えてもらいたいという…個人的な感想です。

【飯田委員】

条件付賛成は良いですか。今上がった点を考慮すれば、まあ賛成、という…。

【吉田会長】

どんな点ですか。

【飯田委員】

平たく言えば、準備不足の面があると。ニーズがどの程度であるとか、そこら辺をクリアすれば賛成ということによいのなら…。

【吉田会長】

条件をつけていられないと思うのですけれどね。だから、この今書かれている条件で、採択するかしないかということになってしまうと思うのですね。採択はよいのですが、不採択の場合は、その不採択の理由を言って、場合によっては再度提案してくださいというような文面になると思うのですけれど。よろしいですか。

それでは採択したいと思います。この春－11につきまして、採択、賛成と言う方は挙手願います。

－ 2名が挙手 －

2名ということで、これについては一応、不採択ということになります。それで、理由なのですが、橋本委員の意見を丸めて、ちょっと準備不足というか、この構想というか提案内容について、ニーズの見込みとか講師がまだ決まっていないとか、非常に不確定なところがあるので不採択とします、というような文面でよろしいですか。それで、プラス、内容をもう一度再検討し提案されることを望みます、ご推奨します。そんな文面もちょっと付けてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。ですから、内容はすごく高度なんですよ、私達が分からないくらい…。本当は、この地域に住まわれるお年寄

りは、スイッチを押してパソコンを立ち上げるやり方から、インターネットの接続とか、基本的なことを知らない方もいっぱい居ると思うのですね。もっと基本的ことを教えて、使い方、そういうことだけでも十分かなと思うんです。何か、変な高等テクニックなんて教わらなくてもよいような気がするのですね。だからもう少し基本的なことを教える講座みたいなものを作ってもらったらよいかないというふうに私は思いますけどね。

【大竹委員】

高齢者のためのネット通販とか、そういうようなものも考えていると仰っていたのですが、今朝のニュースを見ますと、インターネットバンキングの被害がものすごい、というような事も出ておりますので、そういうようなものを懸念すると、いかなものかと思うんですよね。

【吉田会長】

ですから私、前回も言いましたが、パソコンとかは今そういった通信関係の一つの道具なんですよね。だから講師の方には、そういった道具の使い方を誤らないような教育もちゃんとやらしてもらえばよいのですよ。だから非常に便利なツール、道具であるということは確かなのですね。その取り扱いを誤らないような、そういった教育も当然すべきではないかと思えますけどね。だから使った何かそういった詐欺にかかるとか、そういった懸念ばかり持っていたら何もできないですよね。そういった危険性、リスクもちゃんと心得て使っていくのは当たり前のことなので、ということでいかがでしょうか。

そういうことで、そういった理由を付して提案者のほうに通知していただくということでお願いします。

【鷺沢委員】

会長が最初に言われた「次回を期待する」というような言葉は、私ども委員会としては付け加えるべきではないと思います。どうしてかという、本当に彼らが、私たちが指摘した基本的な問題点に回答して苦労して学んでですね、SNSの問題点等も話題になりましたが、それについてどう対応するのかというような意見とか、或いは講師とか日程とか、或いは場所なども、ここを使わずに他の教育機関で活用できる部分もありますので、そういった面にも回答できるように、きちんと下準備をしてやっていただく。そういう意欲があるならば、やはり彼らがもう一度チャレンジしてくるはずですよ。私た

ちの疑問は疑問として、意見としてそのまま書いて、彼らが来るかどうかは、私たちは静かに見守っていればよいのじゃないかというふうに思います。

【吉田会長】

分かりました。では期待という言葉は削除で二次募集もありますということで、伝えておけばよいかなというふうに思います。では春-11が不採択という形になりましたので、次、春-10、青苧の提案につきまして皆さんのご意見をお願いします。

これがもし採択になれば、その上全部がすべて採択ということになりますので、ご理解願います。どうでしょうか。これを見ますと、採択方針についてのバツはお二人ということで、他の方15名はマルということで、提案自体については大方の方は否定的ではないという感じにとれますが、何かございますか。採択につきまして。無ければ採択に入ってよろしいですか。

それでは、春-10の「謙信公ゆかりの青苧を再生し…」という提案につきまして、採択に賛成の方、挙手願います。

— 15名が挙手 —

それでは、これについては賛成多数ということで、採択ということで決定しました。それでは、1位から13位までが採択ということですよ。

今度は採択金額について審議してまいります。まず上位の1番、春-8「高齢者の健康づくり活動(まちづくり)と地域交流事業」につきまして、採択金額について何か、提案どおり、もしくは減額の意見がございましたらお願いします。特にありませんか。

(よしの声)

はい、それでは、まず満額でよろしいかという問いかけをしたいと思います。これにつきましては30万円ということなのですが、満額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは満額で決定いたします。引き続き2番の春-5「春日山城跡松林の保全(松葉カキ)事業」につきまして、減額等のご意見がありましたらお願いします。特にありませんか。

(よしの声)

それでは申請金額46万4,000円につきまして満額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは満額といたします。次、春－13「御館リバーサイド環境美化事業」についてです。減額等の意見、ございますでしょうか。

(よしの声)

それでは提案金11万7,000円でよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは11万7,000円で決定いたします。次、春－1「高齢者のふれあいサロン・仲間づくりと、いきがいつくり事業」につきまして、8万円ということですが減額等の意見ございますでしょうか。

【鷺沢委員】

この前も発言しましたし、それから特記事項等のプリントにも同様の意見の方がおられますが、やはり飲食費ですとか入湯料につきましては、これは基本的な原則でありますので、高齢者の団体云々ということに関わらず、春日地域協議会の基本的な姿勢という意味でも、この部分については減額して、後は満額を認めたい、という具合に私は考えています。ただやっている内容は素晴らしいので、そういった点を勘案して今後も継続し拡大していただきたいという具合に考えます。

【吉田会長】

減額するとすれば、具体的には…。

【鷺沢委員】

前回の疑問の回答書が来ていますよね。そこにふしんの里と、それから芝峠ですか、その飲食費、入湯料というのが細かく明記されていますよね。その部分だけカットすべきではないかという具合に私は考えます。

【吉田会長】

それで計算はしてないのですか。いくらにすべきか。

【鷺沢委員】

計算はしていない…。

【吉田会長】

他の方、どうですか。3,000円のところの内訳ですが2,150円と、入湯料が

520円、魚しんの場合。そして芝峠が2,070円と600円ということなのですが、私達も飲食という話はしましたが、入湯については別にダメだともなんとも言ってないのですが、その辺どこまで認めるかということと、それから昨年の事業で商工振興会さんで地域のイベント等をされて、例えば餅とか綿アメとかそういったものの提供は、確かされていると思うんですよ。ですから、もう少し老人たちに多少は配慮をして、どこまで認めるかを、皆さん、ご検討願えますか。例えば飲食はバツだとすれば。それと皆さん、お年寄りには3,000円のうちの2,000円負担しているんですね。既に3分の2は負担しているんですよ。それで、私達がこの協議会で、どこに金額を申請していたかということで、そういったところで、こういった補助金の申請金額が事実、3,000円のうち2,000円は既に負担している、「1,000円をください」と言っているんですよ。入湯税と休憩料を入れれば1,000円近くになるのですが、ほぼこの金額を認めてよいか、という意見もあってもよいかと思います。皆さんどうですか。

それでは、春日野いきいきサロンの8万円について、そのまま承認されるという方はちょっと挙手願います。

— ほぼ全員が挙手 —

賛成多数でこの8万円のまま申請を認めるということで、決定をいたしました。それでは5番目、春-3「安全に安心して暮らせるまちづくり事業」につきまして87万円の申請金額がございます。これについて、減額等のご意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。特にございませんか。

それでは申請金額は87万円そのままよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは87万円で決定します。次、6番目、春-7「高志小図書ボランティア事業」の7万2,000円の申請について、減額等のご意見はございますでしょうか。

無いようですので7万2,000円の金額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

では7万2,000円で決定します。次、7番目、春-6「春日山城跡環境整備事業(草刈りと草刈機購入補助)」の38万8,000円について、減額等のご意見ござい

ますでしょうか。

ご意見が無いようですが、それでは満額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは38万8,000円で決定いたします。8番目、春-14「高志小学校区幼年野球育成事業」の20万円につきまして、減額等のご意見ございますでしょうか。

無いようですので、満額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは20万円で決定します。次、9番、春-12「謙信ジュニアバレーボールクラブ事業」につきまして、19万8,000円の申請について減額等のご意見がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは満額の19万8,000円といたします。次、10番、春-9「春日区の交通安全のための道路標示の修繕及びカーブミラー設置事業」の、67万2,000円につきまして減額等のご意見がございましたらお願いします。

無いようなので、満額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

67万2,000円で決定します。次、11番、春-2「上杉軍出陣式用甲冑更新事業」の70万円の申請につきまして、減額等のご意見がございましたでしょうか。

【宮脇委員】

こちらは見積もりを他にも取っていただいて、そういう条件で…。

【吉田会長】

そうですね、意見等にも書かれていますね

【宮脇委員】

是非、他者からも見積もりを取っていただきたいと。

【吉田会長】

そうですね。メーカーによって個性があるので、類似のものを見積もりを取って実施してください、ということよろしいですか。

それでは、類似の甲冑を他社から相見積もりを取って、比較、実施願います、とい

うことですね。相見積もりを取りなさいということです。これはご意見が書かれています。

【恩田係長】

今の件ですが、提案書中に、今回の提案の甲冑を選んだ理由が記載されています。ですから他社から甲冑の見積もりを取り入れるということについては、現実的には難しいのではないかとこのように思われますがいかがでしょうか。

【吉田会長】

私が言ったのは「類似」です。これだけ相見積もりを取れという意見が出ているので、私も意見として無視できないかなと思いますので、類似、まあ若干違いはあるかもしれませんが。

【恩田係長】

もし仮に、そちらの方が安かったらそちらの方から買ってください、ということなのではないでしょうか。

【吉田会長】

そういう趣旨です。それで後で、それでもどうしてもダメということであれば、それは仕方ないかな、という所もあるのですよね。意外と、意匠ではないけど、著作権ですかね、そういった甲冑のデザインというのは、企業の持ち物なので、そういうものに相当するものが無いとか、もしあれば、これはちょっと諦めないといけないかなということでご理解ください。それで注文としては付けておきますよと。類似のものを、必ず相見積もりを取って実施してください、ということでは付けたいと思います。そういうことでよろしいでしょうか。

【恩田係長】

実現可能かどうかは分かりませんが、協議会の意向として伝える、ということですね。

【吉田会長】

そういうコメントを付けるということで、とりあえず満額の70万円です。

【鷺澤委員】

本年度は認めてね、次年度からは是非やっていただきたいという…。

【吉田会長】

そういったコメントを今回つけるのです。

【飯田委員】

次年度ですか。

【吉田会長】

違います、これは今年度にそういうコメントを付けます。その上で70万円、とりあえず採択します。ただし、言ったように、そういった意匠だとか著作権にかかるようなところで問題があったり、それと、類似のものを他社が作っていないとかそういう理由があったら仕方ないと今回は諦めます。それでは11番終わります。12番、春-4「春日山城跡観光整備事業（春日山城跡のジオラマ作成補助）」の申請金額200万円です。これについて減額等のご意見がありましたらお願いします。

それでは宮脇委員からの文書等もありますので、まずは宮脇委員からそれについて趣旨等をお願いします。

【宮脇委員】

私は、不適合ということで基本的な考え方は二つあります。今はっきりしていない春日山の状況を、なぜ今ジオラマを作らなければいけないのか。新たに発掘調査なりして、春日山の全貌がある程度分かっているのであればよいのですが、全く変わらないから今まで何もできなかった。今現在、はっきりと春日山がこうだ、ということは、この趣意書に書いてあるとおり、資料が非常に少なくて分かりにくい、と言っておきながら、今なぜジオラマなのかということです。それともう一点は、なぜ春日地区で、これは構想を見ていただくと分かりますが、上越商工会議所と上越コンベンション協会が主体となって、謙信公聖地構想というのを作ったわけです。私がHPを見たら五十数ページある膨大な資料の中の一環のジオラマだけ、なぜ春日地区の、春日整備保存会が主体となってやらなければならないのか。それで、なおかつここに、上越コンベンション協会と上越商工会議所が寄付金として100万円ずつ援助しているという形なんですね。まさに本末転倒だと思うんです。上越市でやるのであれば、あくまで主体は上越市であるべきで、なぜここで春日山保存整備振興会が主体になっているのか。この2点が私には疑

問だと思えます。もっと疑問なのは、最初に言った、なぜ今ジオラマ必要なのか。私じつは今日、ガイドの会で、新幹線の件で研修旅行に黒部に行き黒部の方と交流してきたのですが、その中で私が書いたこのレジュメを、私たちの仲間5～6人に読ませましたところ、全員が私の意見に賛成で、もっともだと。皆さん、現地に、春日山に携わっている人間は、私と全く同じ考え方を持って観光客の相手をしているのですね。そういうことで、もっと今の現実を知っていただきたい。ここでジオラマを作って、前回、山本副会長がちょっと言われたのですが、春日山にある絵図面の一番古いものは元禄時代です。というのは、春日山城が廃城になってから100年経った後、それを元に出てくるんですが、その100年前の春日山の姿というのは全くアテにならない。作図なんですね。いま春日山神社で売っているあの絵図面、あれ700円で売っているでしょ。石垣も書いてある。あれをよく見ると謙信公と景勝の時代の武将がみんなごっちゃになって書いてある。見てください。景勝の時代と、謙信公の時代と、そういう武将たちがごっちゃに書いて、あれが今700円で春日山の茶店の下で売っていますよね。私がまず一番言いたいのは、案内看板。皆さんご存知でしょうか、トイレの前に看板がありますね。何と書いてあるか知っていますか。まっすぐ行って本丸から上がる道がありますよね。あれは急だから、春日神社を周っていくと楽です、と書いてある。ところが、私たちが案内するのは左側をずうっと、甘粕屋敷まで行って案内するんですよ。実は、私たちは再三それを直してくれと。現に観光客から文句を言われてね、それで、あそこにほら、市の人たちがいるから、その人たちに言ってもらったんですが、結局ぜんぜん聞いてもらえないし、未だに直っていません。それから、あそこに千貫門の看板がありますね。千貫門の説明の看板。みなさん見たことはありますか。あれを見て意味が分かりますか。皆さんがおそらく行っても、あの千貫門の説明で、ああこういうことか、と納得する人は一人もいないと思います。だってあの看板自体置く場所が間違っているのです。階段を登っていったすぐそばにあるのです。そういうことから始まって、ちょっと上がると、「上杉弾正少弼入道の跡」と書いてあるんです。石碑があるのです。上杉弾正少弼というのは二人いるのです。謙信公と景勝公。ところがその下に入道と書いてある。入道となると謙信公しかいないんです。あんなところに謙信公の館があったと思いますか。私はたくさんの先生に聞きましたが、こんなものは昔、勝手に誰かが作ったんだと、こう

いう意見なんです。だからそういうものは、明らかに間違っているのを取り払って、それで正しいものを作る。今それが出来ないのは何故かという、国の史跡になっているから、今までにあるものはひとつも動かさない。これが今の春日山の現状です。そういう状況で今、このジオラマを作られたら、皆さん勘違いしますよね。今作っているジオラマが正しい昔の姿だと思う。非常に危険なことだと思います。私が仲間に話をしたら皆同じ意見です。もっと、本当の春日山の姿を出して、今ある看板を分かりやすくして、道順をきちんと作って、お客さんが分かりやすく登れるような姿にすべきだと。こういうものを作るより、まず、どうしたら春日山に観光客を呼べるか、こちらのほうが先決だと思うのです。ただこういうものを作って、450万もの予算を使ってこういうものが必要かどうかということ、私はこれに書いて、皆さん読んでいただけましたか。これが趣旨です。これは私個人の意見でもあります、私たちガイド仲間の、実際に春日山に携わっている人間の同じ意見です。これを見せたところ、一人として「お前が間違ってる」という人はいませんでした。そういうことで、私が不適合とした理由をここに提案させていただきました。

【吉田会長】

ありがとうございました。一応採点結果を見ると、採択方針に関しては3名の方がバツということで、他の方はマルなんです、今の宮脇委員のご意見があります。他の委員さん、何かご意見ありますでしょうか。

【鷺沢委員】

私は今年からこの整備協議会に会費を払って参加しています。今の宮脇委員の話は、何かフェイスブックやインターネットよりも難しくてよく分かりませんが、私は、整備促進協議会は整備促進保存事業に基本的には特化すべきではないかという考えを持っています。ジオラマは明らかに観光政策の一環ですので、そういったものはやはりコンベンション協会のほうに中心を任せて、もし採択して支援事業として認めるならば、やはり半額などという金額は、半額を支援事業として求めている話ですが、そういうのではなくて、減額して、まさに宮脇委員の言うように本末転倒というか、中心をコンベンション協会のほうに移して、私たちも基本的には支援しますが、減額して支援すべきではないかという具合に感じています。

【吉田会長】

ありがとうございました。他の委員の皆さんいかがですか。

主体がどうのこうのという話は、山本副会長からもちょっと話があったとおり…。

【宮脇委員】

謙信公聖地構想です。

【吉田会長】

そういった作成にあたっては、今回提案いただいた春日山城跡保存整備促進協議会の方々も参画して構想を作ったと。それと、ジオラマ自身の提案は、この整備促進協議会の方々の提案で、メニューとして盛り込まれている。そういうこともあって、実行自体は整備促進協議会のほうで提案しているという経過がありますので、主体としてふさわしいと思いますかね。実行部隊として活躍されていると。それから、名称が、整備促進協議会となってしまうので、整備中心というように捉えてしまうかもしれませんが、そういった活動の内容はどんどん変わっていくものかなというふうに私は思います。他の委員さん、いかがでしょうか。お二人反対意見なんですが。

【宮脇委員】

私の言ったことが難しかったですか。

【宮崎委員】

この前も私ちょっと質問したのですが、この申請書を出してもらうのに、その団体の会則があるところは出してもらいますよね。会則がついていますよね。その会則の趣旨に則って、出すのではないですか。こればかりではなく、会則というのはその団体の会則ですよね。つけてもらうのは。それなのに、目的と事業の中身が、やはり今のジオラマの件はちょっとそぐわない…。

【吉田会長】

ジオラマと具体的には書いてないですが、観光だとか何か言葉がありましたよね。

【宮崎委員】

そうすると、では会則というのはあって無いようなものになってしまうでしょう。何でもできちゃうでしょう。事業が。

【吉田会長】

ですから観光振興のための手段として、そういったジオラマがあるのではないでしょう。そういった具体的なことは書けないでしょう。ジオラマとか。

【宮崎委員】

ここに観光なんて字がありますか。目的にはないです。事業にもない。作るのとは別によいのですけど。

【吉田会長】

春日山城跡の活用と後世への歴史の継承というか、そういったジオラマでそうしたイメージを持ってもらうとか…。

【宮崎委員】

鷺沢委員が言われたように、なんでコンベンションでできないのですかね。春日山城跡は春日山地区だけでやっているわけじゃないですよ。全市的な観光でやっているわけですよ。だから市の観光課がやるか、今言ったコンベンションでやればよいわけだ、この同じ方法で。と、私は思います。反対というのではないけど、主体がちょっと。何でもありきになっちゃうような気がするのですが、どんなものでしょうか。別に回答を、とかそういうのではなくて…。

【吉田会長】

主体の議論になっていますが、他の委員さん、いかがですか。

【竹内委員】

私も宮脇委員から聞かなかつたら全然分からなかったです。そのジオラマというのは、ここにも書いてありますけど、構想資料準備、今回の春日山城跡調査検討委員、学者、文化人、というふうに書いてあるので、そういうふうにごく知識に長けた方が構想して作られるのかなと思ったら、今お話を聞いたら、全然はっきりとした根拠はないというふうに聞いて、それであれば是非この構想資料準備の、この検討委員会に、観光ボランティアの方とか、地元とか、現場の方の意見を取り入れて欲しいなというふうなことを附帯意見として入れていただければ。宮脇委員がせっかく今、一所懸命仰っているので、そういう意見を是非取り入れて欲しいと思います。たぶん、ジオラマは作られると思うのですよ、ここまでやってたら。それであれば、せっかくのこの宮脇委員の意見を、是非取り入れて欲しいかなというふうに思います。

【吉田会長】

書かれているとおりジオラマの制作にあたっては、構想資料を元にして専門家に設計を依頼し、今回、顧問の監修を経て制作に着手するというので、そういった、この上越の歴史に詳しい方がちゃんと担当してやります、ということ。ただし、現在の情報に基づいてですよ。

【宮脇委員】

だからそういう方たちが、「こういうものを作るから」と見せて、全然その具体性のあるものがなくて、その学者の人たちが資料がないので今まで作れなかった、それを発掘調査をしてこういうのが出たからやるんだ、とか言うのであればよいけど、一切それがなくて、しかもその学者や有識者の人たちの意見を聞いて作るというのだけれど、ではその人たちに、「こういう具体的なものを作るんだ」と。こうなって謙信公の居住場所はこうだ、甘粕の屋敷はこうだったんだ、と、今と違うその姿を見せてくれたら、ああそうかと言うのですが、今そういうものが全く無い状況で、ただそういう学者の意見を聞いて作るんだということは、要するに見切り発車的な考えなんです。今回、皆さんに高田城の1,500円の本をみせ見せたでしょう。買いましたか。あの表紙を見てください、私びっくりしました。いきなり本丸の御殿が出てきたんですよ。今まで私がずいぶん研究してきて、本丸御殿のイメージがぜんぜん無いのです。それであの本の中で、あれだけ表紙に書いた本丸御殿の説明がただ一言、「本丸御殿」ですよ。本来は、玄関口がどうで、門番がどうで、本来…あそこに附属中学があるんですが、70年、80年続いた附属中があつて…。

【吉田会長】

高田城の話はやめてください。

【宮脇委員】

いえ、そういう形で、いま例えばで言うんだよ。こういう形で今、現にね、先にありきで見切り発車で作っちゃう。それは非常に危険なことだと私は思うんです。これが本当に、ある程度確かなものに基づいて作るのであれば大賛成です。

【吉田会長】

分かりました。宮脇委員の意見は十分に聞きました。そういうことで、事業内容の

(1) の上のジオラマ作成、もう一回繰り返しますが、専門業者に制作を依頼するということと、それから構想資料準備については、今回の春日山城跡調査検討委員と、それと教育委員会、文化行政課等の指導を受けて作成するというので、今現在やれる範囲での情報を集めてやるということなので、宮脇委員はそういったご意見だとは思いますが、他にご意見がなければ、ここでまず満額で採択するかどうかを諮りたいと思います。いかがでしょうか。

【橋本委員】

竹内委員が仰ったように、ここまで計画があれば、たぶんジオラマは作られるわけですね。で、いま宮脇委員が仰ったことは、このジオラマ自体を作ることに反対というご意見のように承りましたが、もしここで私たちが採択をするときの附帯意見に、実際このジオラマを活用して地域、観光客の人に説明をしたりというときに、活用する最前線にいらっしゃるのガイドの方たちだったりすると思うので、いま宮脇委員は委員としていうよりもガイドとしてのご発言だったようにも思います。ですので、附帯意見の中に、実際に活用するときに活躍してくれるガイドさんたちに、作るときに是非意見を聞いて、というのを付けるのはだめでしょうか。

【吉田会長】

例えば、そういった構想のところで市内から意見も聞いてということで策定できませんか、していただけませんか、という附帯意見はつけられると思います。ガイドというそういう特定のものに絞ってはいけないと思います。確かに依頼されるのは何名かの専門家だと思うのですね。専門家は他にもいらっしゃると思うので、そういった違う見方、見解もあるかもしれない。

【南雲委員】

でも実際には東京のほうの業者が作るわけですね。せっかくの支援事業費が地元の業者の企業のところには…。

【吉田会長】

作るのは特殊だから、技術的に無いから東京に出すということでしょう。地元じゃ作れないということ。

【南雲委員】

無理なのですか。それと、この置く場所、展示場と書いてありまして、埋蔵文化財センター入り口ホールを予定と書いてありますよね。ここにも書いたのですが、高田図書館のところに福島城のジオラマが建っているんですけど、階段の下にあるんですよ。ですので何か気の毒というか、せっかく高いお金をかけて作られても、階段の下に置かれたら何かもったいないなあ、と危惧しています。せっかく高いお金を私たちは…。

【吉田会長】

図書館みたいに階段の裏に置くわけじゃないですよ。

【南雲委員】

いや分からないです。予定、と書いてあるから。センター入り口のほうの予定だから、確定ではないわけだから…。

【吉田会長】

そこまで勘ぐっても…。ポジティブに考えてください。そういうことでまず、満額で採択に賛成かどうかを諮りたいと思います。申請金額200万円に対して満額で賛成される方は挙手を願います。

— 4名が挙手 —

それでは減額について何かご意見ありましたらお願いします。減額の理由とその程度ですね。

【田中委員】

ジオラマについて、私も正直言って、なんでこのジオラマになってしまったんだろうか、というのは事実です。というのは、皆さんも新聞でご覧になっておられるかと思いますが、昨年、我々団体と、この春日山城跡保存協議会、各1丁目2丁目町内会と、春日山の町づくりということで、春日山2丁目と1丁目の一部を用途地域変更ということをやらせていただきましたが、その話の中で、今の、埋蔵文化センターではなかなか休憩所とか、レストランだとか、諸々のものが作れないという形の中で、じゃあどうしたらよいのだろうかということで、1丁目2丁目の用途を一部変えて、空き地をうまく利用して、町づくりをしようというのが発端だったんです。それが、昨年11月の終わり頃でしょうか、きちんと採決されて変更になったのですが、年が明けたとたんこのジオラマという話が出てきまして、では今まで我々が一所懸命やってきた町づくりの話

についてどうなってしまったんだろう、というのは、正直あります。ですが、この城跡保存整備協議会の会長さんが一所懸命やっておられることは事実です。私も不思議でしょうがないのですが、何で商工会議所から100万、コンベンションから100万、足りないのを200万、今度は地域協議会に提出されたんだろうと、私は理解するんですが、正直言って地元の私ども団体としましては、反対は反対なのですが、観光のためには作っていただければ有難いというふうに思っているんです。本来であれば、一応会長さんに話を聞かれるべきだったんですよ。確かに、宮脇委員ですが、現実の山の形だけはあると。ただし、柿崎がどこかとかというはっきりした邸宅というんでしょうか、これは分からない。これは私も承知しています。そして今、千貫門も分かりますか。と言われて、私も何回か草刈りに行って、ああこれはこうなんだな、ということで、ある程度は理解しているのですが、この会の会長さんが考えておられる確かに今言ったとおり、場所もよく分からないけれども、冬場の観光、体の不自由な方のために、春日山のある程度のジオラマだったらジオラマを作って、この春日山を宣伝していきたい、というのが会長さんの趣旨なんです。ですので、ダメだということであれば、それは止むを得ませんが、ある程度機転を利かせるような形で、ここは違えよう、あそこは違えようということであれば改善して、昔のあるべき姿を…。それで今度は、これは私が単独で調べさせてもらって、現実の春日山城跡の山城の図面等々は、ある場所にあるんですよ。ですので、できれば、正直を言えば私は、なんでまちづくりをしようと言っていたのが、急遽変わってジオラマになったんだろう、というのを不思議に思うんですが、本当に整備促進協議会の会長さんは観光に関して一所懸命取り組んでやっておられますので、確かにこのバツの中に私も一人含まれているのですが、地元商工会の会長とすれば、そのジオラマだったらジオラマ、ひとつでも結構ですので、何とか観光の目玉に、作成していただけるものであれば、していただければありがたいと思います。

【吉田会長】

ありがとうございました。とりあえず今、満額での賛成というのは4名の方だけだったのですが、もう採択は決まっていますので、減額についてご意見をお願いします。田中委員から、本当は反対なんだけどという面白い発言がありましたが、今のお話の中で山本副会長も少しお話しされたんですけど、やはり、確定ではない、事実に基づいて作

るので、そういった修正はあるわけですね。そういう気持ちは。だから、そういう気持ちがありながら、イメージが、やはりジオラマを見ないと、山のそういった、どういうことだったのかというのが分からないということで、とりあえず作って、観光に来た方に分かりやすく見ていただきたい、というのが趣旨だと思うんですよ。そういったことを酌んでいただければというふうに思います。だから見えてないところはあるのですよ。だけれども、せっかく山に来られた方に、城の全体像を理解していただくということで、不確定な部分はあるけど、今回提案をされたということを酌んでいただきたいと思います。それで、減額についてですが、何か良い知恵があったら、発言があったらお願いします。

【宮崎委員】

減額して作れるんですか。

【吉田会長】

減額するにも理由が要るんですよ。今の田中委員のフォローのお話も含めて、もしよければもう一度、満額での賛成を諮りたいと思いますが、いかがでしょうか。

【田中委員】

確かに皆さんの言われることも分かりますが、是非なんとか、地元の商工会の会長として、先ほども言いましたが、観光のために是非ご理解をいただければ、なんとかご理解いただいて、修正する部分は可能だということですので…。

【鷺沢委員】

根拠となる明確な意見はありませんが、やはり整備促進協議会は、基本的にその名のおりの方向で、そういう名前に沿った中心的な活動をしていくべきだという点から、支援事業費の面でも主体となるような金額ではなく、商工会議所ですとか、補助金とか寄付金の話がありましたが、半額程度をこの事業についても支援するということがよいのではないかと私は思います。ジオラマを作ることには、基本的には私も賛成なのですが、協議会というか、この支援事業で中心となって作っていくということにはどうしても納得できない。ただし、支援はしたい気持ちがあるので、商工会議所、或いはコンベンション協会が寄付を名乗り出ている点を逆手に取って、100万円くらいがよいのではないかと、というふうに私は感じます。

【吉田会長】

減額する理由にはなりませんよね。主体の話だったらよいのですが、主体の議論はもう…。

【田中委員】

春－7だとか春－6だとか、バツの方が一人二人いらっしゃいますよね。そういう方たちが満額で採決されているのに…。確かにバツは3人の方がいらっしゃいますが、そのあたりも公平性等々も加味していただければ。

【吉田会長】

改めてもう一度採決を取りたいと思います。満額で賛成の方の挙手をお願いします。

－ 挙手する委員6名 －

二人増えましたが。反対の方は、減額の理由をお願いしたいのですが。今の鷺沢委員のはちょっと理由にならないような気がするのですが…。

【鷺沢委員】

どうして理由にならないのですか。議長がそんな判断できるのか。

【吉田会長】

ではもう一度言ってもらえますか。

【鷺沢委員】

従来やってきた協議会の内容から考えると、整備促進保存事業を中心としてやっていったほうがよいのではないかと、ということです。それからジオラマを作ることが本当に春日地域の活性化に直結していくのか、そういうことを考えた場合に、あの五十数ページだとか八十ページだとかの内容を全部読んでも、もっと違う方法があるのではないかと、という観点から、私は減額するほうに賛成だというふうに…。会長の価値観で発言して欲しくないんです。あなたは行司役に徹してください。

【山本副会長】

私は別に春日山城跡保存整備促進協議会を弁護するとかそういうことではなくて、発足のときの話、昨年もちよっとしたかもしれませんが、ご承知のとおり国の史跡、それから遺跡になっていますので、何かやろうとすると必ず発掘調査をしないと前に進まない、とお話をちよっとしたと思います。ですので、会を立ち上げるときに、まず清掃と

か松葉かきとかそういうことをして、国の補助金をすぐ貰えれば一番よいのですが、そういう活動の中から、春日山を整備し促進をする、ということは逆に言えば、いままで分からなかった発掘調査とか、そういうことも将来的にはというのがあります。それで皆さん観光観光って言うけど、宮脇委員もよく分かると思いますが、今の形では建物一つトイレ一つ作れない、そういうことも含めて、そういうことを発想しながら、当然地域の発展には観光が必要なわけですので、それはこの陰に隠れているかもしれませんが、目的の中には入っております。そういうことで、今年もまた陳情活動をするんですが、そういうものやっけていくんだということで、我々は観光は全然しないんだということではなくて、そういう目的がありますので、一つ…。

【飯田委員】

私は作るならインパクトのあるものを作って欲しい。インパクトのある、強く感じるものを作ってもらいたい。作ったはよいけど誰も見ないのでは意味がない。従いまして、200万でよいのかどうなのかと私は思います。史実がどうのこうのというのは、後でいくらでもまた作りかえられるでしょ。すぐ前にぶら下がっている新幹線等の問題もあるわけでしょう。

【吉田会長】

ということは、どういうことなのか。

【飯田委員】

ですから、私は200万でよいのかということですね、逆に。どうせ作るならもっと。平たく言えば、中途半端な金を出して、後で見向きもしないようでは、何だという話になりますので。このジオラマがそれに足りる、総額450万だかなんだかで足りるという、それはそれで結構だと私は思います。

【大口委員】

私が思っていたのは、まずジオラマですが、あの、埋蔵文化財センターの中にあるのは、例のテレビの兼続の時なんでしょうかね。あれはどの程度かかったものなのか、ちょっと調べてありませんが、更に合戦、ガクトが来てラストで行われる藤蔓の棚でしょうか、あそこのところにも春日山のジオラマが青銅かなにかで出来ていますね。そんなことがあります。それと今回、福島城を制作した方が新井の人です。その辺の関係、

予算までは聞いていませんが、その辺は、本当にかかるものなのかなということだけ、私ちょっとひっかかっていたので手を挙げなかったんですが、私はこれから満額に手を挙げます。

【竹内委員】

私はジオラマに反対しているわけではないのですが、やはり大いに活用して欲しいんですよ。だから先ほども、口がすっぱくなるほど言っているのは、現場の人の意見を聞いてほしい、それが聞いてもらえないのであれば、やはりそっぽを向かれるのではないかなという危惧をしたもので、満額、と言われると手が挙げられないのです。だから、素晴らしいジオラマを、というふうなご意見もありましたが、やはり皆から愛されて好まれる、有効利用されるようなジオラマを作ってほしいというふうに思いますので、附帯意見というところは是非入れて欲しいかなと。それを「入れます」と仰れば、私は満額でOKだと思います。

【吉田会長】

どういう表現になりますか。「ジオラマが完成した後も春日山城跡観光整備事業に活かせるようジオラマが有効に活用されることを期待します」とか、そういった文面があるのですが。ちゃんと作って活用するようにしてください、ということよろしいですか。そういった附帯意見をつけるということ。

【橋本委員】

もし満額でなかったとして、不足した分をどのように調達されるのかなと想像しているんですが、その不足した分が、例えば20万とか少額だったときに、「ジオラマ募金」のような形で地域に呼びかけるという方法があるとすれば、地域の人たちに、ジオラマがこれから作られるということを知らせることもできて、まあ知らせるためのお金が大変だったら回覧板でチラシ何枚かぐらいで町内で回してもらおうというような、あまりお金をかけない形で告知するということもあり得るのかなと思って。でもそれは、附帯意見につけるには、なかなか具体的すぎかもしれないのですが、満額をそのまま「はい」と渡す前に、その部分のどこかで、捻出するための何かを考えてもらうというのも一つ、よいかなと…。

【吉田会長】

仮に採択しますよね。一般市民からも寄付を募ってできるだけ減額に努めてくださいと。要は金が余れば返すんですよ。寄付金募って、プラス200万じゃなくて250万集まりました。50万返金しますよということも可能なんです。そういう条件つきでよろしいですか。

【橋本委員】

だったら分かります。

【吉田会長】

ジオラマが有効に活用されるような企画ということと、できるだけ一般市民からも募金を募ってこの補助金額の減額に努めてください。そういうものをつけるという形で、橋本委員はそういう形なら条件付きで採択…。

【大口委員】

福島城は140万で出来たそうです。一応参考までに。

【鷲澤委員】

現実的に、例えば安協だって集まらないのに寄付なんか、ジオラマって何だという形がみえみえでしょう。

【橋本委員】

分からないですけど、ジオラマを作って、後に何か、なんでこんなのを作っちゃったんだろうねというのより、作る前に「作るんだ」というその意気込みを、地域の人がかかっていたほうがよいんじゃないかと思いますが…。地域の人たちの知らないところでこういう計画が進んでいるという、その弊害を少しでも回避するという努力はあってもよいんじゃないでしょうか。そこで地域の人たちに努力が伝わるか、熱意が伝わるかどうかは、いつもの協議会の活動で皆さん頑張っていらっしゃるはずなので。文句だけ言う地域の人ってダメですよ。盛り上げるためにやるという人がいるんだから…。

【吉田会長】

地域の方も何か関心を持てるようなそういった周知の仕方というか、それを考えてくださいでよいでしょうか。

【橋本委員】

そうですね。

【吉田会長】

それでは、一つは構想の周知と活用でした。それとジオラマの活用、その2点をコメントとしてつけて、それでよろしいですか。そういう条件で、満額で賛成される方、挙手願います。田中委員は賛成になったんですか。

【田中委員】

私は、今までの経緯をお話しただけで、満額にしてくれなどとは言っていません。ただ、認めて…。

【吉田会長】

今、採決しているのは、減額じゃなくてまず満額の採決をしている。もう一度すいません。満額でOKだよという方は挙手願います。

－ 9名が挙手 －

紆余曲折しましたが、今のふたつの条件、ジオラマの活用を図ってくださいということ、ジオラマをこれから作るんだということの周知を図ってください、というこの2点を要望としてですね…。

【竹内委員】

ごめんなさい会長、もし要望をして、それが全然実現されてなかった場合は…。

【吉田会長】

私らもフォローをちゃんとしていくということですよ。それでないと…。

【宮脇委員】

誰が活用するんですか。活用してくださいと言って…。

【吉田会長】

来た人にちゃんと見てもらうという意味での活用です。

【宮脇委員】

だから誰が活用するんですか。活用するようにしてくださいという意見なんです、誰が活用するんですか。

【吉田会長】

だから置く場所も含めて、市民なり観光客が来て、山の理解といいですかそういうものを…。

【宮脇委員】

これは、整備保存促進協会の人たちに、活用してくださいという附帯意見をつける
んでしょう。その人たちが活用するということですか。活用とはどういう意味ですか。

【吉田会長】

だから観光などにちゃんと活用するということでしょう。

【宮脇委員】

では、この保存協議会の人たちが観光案内をするということですよ。これでもつ
て。

【吉田会長】

そんな極端な言い方をしなくても…。

【宮脇委員】

いや極端じゃない、だって活用という言葉の意味が…。

【南雲委員】

400万のうち200万は、どうしてコンベンションとか商工会議所のほうに出資
を希望したんでしょうか。なんで春日地区で全部調達しようという、そこら辺が、山本
副会長お分かりですか。今のお話の中で春日山、春日山というふうに出てきたから、だ
ったら400万全部希望すればよかったんじゃないかなという気がします。私はそれを
すごく疑問に思っていましたので、お聞きしてみたいと思います。

【山本副会長】

一緒に取り組んでいるコンベンション協会、それから商工会議所のほうからも、是
非この新幹線開業に向けてこういうものがあつたら良いので、観光客に対しても、山に
登れない人たちにも、こういうもので山を知ってもらえるということで、そこでお金を
これだけ集めて出します、ということの中で、制作費が400万、それで200万はこ
ちらのほうで集めてくれるから、残り200万を今回申請したということです。

【南雲委員】

お願いしたのではなくて向こうから「じゃあ出します」と…。

【山本副会長】

協議の中でそういう話が出てきたということですね。

【宮脇委員】

南雲委員、違うんですよ。謙信公聖地構想というものの中に、その一角に、このジオラマ制作というのが出てきているんですよ。だから私が言うのは、これが主体になるならば、上越市コンベンション協会と上越商工会議所が本来主体となるべきなのに、その一部だけを取り出して、それをこの保存整備促進協議会が主体になるのはおかしいと言っているんです。そういうことなんです。だから、保存整備促進協議会がこれを出して、協力を得たのではないんです。五十数ページの構想を見ると、いろいろ中に書いてあります。これからの春日山観光をどうしたい、と書いてあります。その中のひとつにジオラマ制作があるんです。それだけを取り出して、春日山保存整備促進協議会が主体になるから、私はおかしいと言っているんです。分かってますか。

【南雲委員】

その歴史的な、春日山の歴史に関して責任を持たれる学者さんですか。まだいろいろと分からない部分がいっぱいあるのに、ジオラマに仕上げていくということに関して、歴史的な責任を…

【山本副会長】

分からない部分はたくさんありますよね。ほとんどの宝物が上杉の、会津か米沢に移っているわけですので、ただ、いま一斉に史跡になっていると、発掘、ここに何かがあったらろうというのを、そういう創造はあるし、位置はここにあったというのも、みんな、分かっている部分と、もう無くなってとか分かっているうちに、進めなければならぬということも言えると思います。ただ、そう言いながら、分からないから何もしないとしたら、分かっている部分だけでも、またそういう言い伝えの中で、いろいろと意見はあるけれども、その部分はここにあった、ということをして、それがもし発掘で違っていたら、それを修正できるように、この間の話ですよ。ですから、皆さんの、いろいろ言い伝えの中で、ここにこういうものがあったとか、そういう資料があれば一番いいわけですが、今の春日山の絵図で、さきほどの元禄の図面が一番古いんだと。二番目に古いんで、一番古いのは上杉博物館に7年前のものがあるんだそうです。それはいくらでも見せてもらったり開示もできるのですが、それを元にして、とりあえず今しようというのがこの間の意見です。ですから、今の山の形をそのままジオラマにするの

は、先ほどお話がありましたように、ものがたり館にあるんですね。それは今の山の形のままのものがあるんですけど、そういうのではなくて、ある程度ロマンを持たせて、そういうものを作りたいということで。また皆さんのそういう意見も取り入れることはたぶん、いま進めていますので、これからあと数回かやって制作に入るので、その間、そういう意見なり要望があれば…。

【吉田会長】

申し訳ありませんが時間も押していますので、今の二つの条件付きで200万で満額採択ということで了承願います。一応9名の賛成をいただいたということでございます。それでは13番目、春-10「謙信公ゆかりの青苧を再生し、青苧に関連する文化の復活と創造を通して、地域活性化や観光促進に資する事業」ということで、青苧の会のほうから33万円の申請です。これについて減額等のご意見がありましたらお願いします。

特に無ければ満額でよろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは満額といたします。以上で13件、満額で採択ということになりました。ご協力ありがとうございました。これで合計が出ると思います。

配分残ということで、360万9,000円でよろしいですか。

【恩田係長】

最終的に不採択は春-11のみです。他は提案額どおりに採択するということになりましたので、希望額の合計は639万1,000円ということになります。配分額は1,000万円ですので、残額が360万9,000円ということになります。

【吉田会長】

360万9,000円の残額が発生しましたので、まず二次募集を行うかどうか、前回もご意見を伺いましたが、諮りたいと思います。まず事務局から二次募集についての説明をお願いいたします。

【恩田係長】

それでは只今、地域協議会だよりの素案ということで配布していますので、お手元に届きましたらご覧いただきたいと思います。表面のほうは、採択事業を紹介するペー

ジになっていて、裏面は二次募集についてお知らせするという形になっています。本日、二次募集を行うことが決定した場合、スケジュール的に6月1日号の広報上越と一緒にこの協議会だよりを配布するというのは間に合いません。従いまして6月15日号の広報上越と一緒にこれを全戸配布する形で予定させていただきたいと思います。この協議会だよりの素案をご覧ください、まず募集期間についてですが、こちらは7月1日～7月15日という期間で記載しました。理由は6月15日にお知らせをして6月15日から募集開始ですと、提案者側のご都合などを考えると厳しいのかなというところです。6月15日からを募集期間としていただいても結構ですが、そのような事情を考慮いただき、募集期間について決定させていただきたいと思います。また、「事業の流れ」という覧をご覧くださいと思いますが、仮に7月15日を提案受付の締め切り日とした場合、協議会での審査、採択の過程を踏まえますと、9月上旬頃の決定が見込まれます。このような案でよろしいかご確認いただき、決定させていただきたいと思います。また、採択方針、審査方法等を変更することも可能です。そちらについても念のため確認してください。

【吉田会長】

前回の協議会で、二次募集を行う方向で基本的には皆さんの了解をいただいております。一応最終確認をしたいのですが、二次募集をするということによろしいでしょうか。

(よしの声)

それでは二次募集をするということで決定します。それから、二次募集に際しての採択の方針ですとか審査方法については、従来どおりでよろしいでしょうか。

(よしの声)

皆さん審査に慣れてきましたので、できるだけ日程や審査のやり方について簡素化といたしますか、スムーズにやるような形で工夫させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。それから二次募集に際して、委員の皆さんからも地元の皆さんに地域に役立つような有益な事業について、どんどん働きかけをお願いしたいというふうに思います。ご協力をお願いします。

それでは、次第の4、その他についてです。次回の開催日程についてですが、事務局から何か補足はありますか。

【恩田係長】

今年2月に、行政改革推進課から「行政改革の取り組みについて」説明をさせていただいたところですが、最近、行政改革推進課と情報交換しましたところ、6月下旬以降になれば計画が煮詰まり、改めて説明に伺うことができるだろうということでした。ついては、しばらく期間が空いてしまいますが、できましたら6月下旬以降で日程調整していただければと考えます。

【吉田会長】

候補日としては6月25日、翌週の7月2日ですね。7月1日から15日まで二次募集をやっていますので、場合によっては私達の勉強会か何か、ということでもよいかと思うのですが、日程的にどうですか。

－ 日程調整中 －

【吉田会長】

今回は7月2日、水曜日といたします。会場は謙信交流館でよいかと思うのですが、もし変更があれば案内のほうで出ると思います。時間は6時半からということでお考えください。以上ですが、事務局のほうからその他何かありますか。

【恩田係長】

特にありません。

【吉田会長】

皆さんのほうで、その他ありますか。

【宮崎委員】

事務局にお願いですが、この場所だと騒々しくてやりづらい。場所の選定をもう少し上手にやってください。

【恩田係長】

承知しました。申し訳ありませんでした。

【吉田会長】

今日は色々な意見を出していただきました。時間がないので私の方で少し端折った採択をしてしまった部分もあるかと反省しております。今後またよろしく申し上げます。それでは以上で終了いたします。ありがとうございました。

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。